

6 保健体育科

(1) 観点別学習状況の評価例

■教科の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力人間性等
※『学習指導要領』 (平成29年告示)参照	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
■教科の「評価の観点及びその趣旨」 ※『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』参照	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに基本的な技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復について学習に主体的に取り組もうとしている。
○授業の構想と学習評価 (例)	・器械運動における多くの技に挑戦し、その技ができる楽しさや喜びを味わうことができる。 ・マット運動では、回転系や技巧系の基本的な技を滑らかに行うことができる。 ・跳び箱運動では、繰り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うことができる。 ≪評価≫ ○上記内容が身に付いているか ○グループ学習での活動の様子 ○用語とその意味やポイントを把握し、正しく表現することができているか ≪B基準の例≫ ○特性や成り立ちを理解し、基本的な技を自己の技能レベルに合わせて行うことができる。	・技に関して、自己課題を発見し、合理的な解決に向けて取り組み方を工夫できる。 ・合理的な解決に向けた取り組みについて、自己の考えを他者に伝えることができる。 ≪評価≫ ○授業内で課題にあった取り組みができているか。また、次の授業に向けてどのような取り組み方をしていくのか表現できているか ○課題解決に向けて他者と話し合い理解を深め、表現できているか ○知識を基に要因などを説明することができているか ≪B基準の例≫ ○課題解決に向けて、自己の課題を発見し、解決に向けた道筋を考えられている。	・ペア及びグループ学習などの話し合いに積極的に参加することができる。 ・よい技や演技に賞賛の声をかけるなど、仲間の努力を認めることができる。 ・練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助できる。 ≪評価≫ ○グループ学習での活動の様子 ○ワーク等への取り組み状況 ○課題解決に向けての取り組み姿勢と取り組み状況 ○学習した内容を振り返り、次に生かそうとしているか ≪B基準の例≫ ○各種目の特性を理解し、安全に留意しながら、課題解決に向けて積極的に参加している。

(2) 年間指導計画

保健体育科 教科の目標

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てると共に健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

① 第1学年

保健体育科 第1学年の目標

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにすると共に、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。
- (2) 運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。
- (3) 運動における競争や共同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てると共に、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動する態度を育てる。
- (4) 個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を養う。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	体づくり運動(8) ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	・心と体の関係への気付き、体の調子の調整、仲間との交流 ・ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高める運動。	【知識・技能】 ・定期考査 ・技能評価 ・授業内の小テスト 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・自己評価カード ・ワークシート ・授業内の小テスト
5	陸上競技(10) ・短距離走・リレー ・長距離走	・クラウチングスタート、ピッチとストライド、バトンパス ・スピードを維持できるペースでのタイムの計測や競争	
6	体育理論(3) ・運動やスポーツの多様性 体づくり運動(6)	・始まりと発展 ・多様な関わり方 ・多様な楽しみ方	
7	・新体力テスト ・体力を高める運動 水泳(8) ・クロール ・平泳ぎ	・ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高める運動。 ・手と足、呼吸のバランスをとり速く泳ぐ ・手と足、呼吸のバランスをとり長く泳ぐ	
8	水泳(8) ・クロール	7月同様	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み状況の観察 ・課題への取り組み状況の観察と確認 ・ワークへの取り組み状況の観察と確認
9	・平泳ぎ		
10	球技(5) ・ネット型『バレーボール』 陸上競技(3) ・長距離走 球技(6)		
11	・ベースボール型『ソフトボール』 器械運動(12) ・マット運動 ・跳び箱運動		
12	武道(5) ・柔道 保健分野(8) ・健康な生活と病気の予防 ・心身の発達と心の健康 ダンス(5) ・創作ダンス		
1	保健分野(8) ・心身の発達と心の健康		
2	球技(5) ・ゴール型『バスケットボール』 球技(5)		
3	・ゴール型『アルティメット』		

② 第2学年

保健体育科 第2学年の目標

- (1)運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにすると共に、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。
- (2)運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。
- (3)運動における競争や共同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てると共に、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動する態度を養う。
- (4)個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を養う。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	体づくり運動(5) ・新体力テスト ・体ほぐしの運動	・心と体の関係への気付き、体の調子の調整、仲間との交流	【知識・技能】 ・定期考査 ・技能評価 ・授業内の小テスト 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・自己評価カード ・ワークシート ・授業内の小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み状況の観察 ・課題への取り組み状況の観察と確認 ・ワークへの取り組み状況の観察と確認
5	陸上競技(8) ・ハードル走 ・リレー	・スタートから加速・中間疾走、スピードあるバトンパス ・スピードを維持したハードリングなど	
6	体育理論(3) ・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	・社会性に及ぼす効果 ・学び方 ・安全な行い方	
7	体づくり運動(8) ・体力を高める運動 水泳(8) ・クロール ・平泳ぎ	・ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高める運動。 ・手と足、呼吸のバランスをとり速く泳ぐ ・手と足、呼吸のバランスをとり長く泳ぐ	
8	水泳(6) ・クロール ・平泳ぎ	※1学期同様	
9	・背泳ぎ 球技(8)	・個人スキル(サーブ・レシーブ・トスなど) ・戦術を意識したグループでの取組	
10	・ネット型『バレーボール』 器械運動(12) ・マット運動 ・跳び箱運動	・基本的な技を滑らかに行うことや発展技、技の組み合わせ。 ・基本的な技を滑らかに行うことや発展技	
11	陸上競技(3) ・長距離走 球技(8) ・ベースボール型『ソフトボール』	・スピードを維持できるペースでのタイムの計測や競争 ・キャッチング、ピッチング、バッティング、ゲーム	
12	保健分野(8) ・健康な生活と病気の予防②	・生活習慣病とその予防 ・がんの予防 ・飲酒、喫煙、薬物乱用について	
1	保健分野(8) ・傷害の防止	・傷害の原因と防止 ・犯罪被害の防止(※人権) ・応急手当の意義と基本	
2	武道(6) ・柔道 ダンス(6) ・現代的なリズムのダンス ・創作ダンス	・礼法、受け身、固め技 ・テーマからイメージをとらえ、体で表現する ・自然な弾みやスイング、ステップなど	
3	球技(8) ・ゴール型『アルティメット』	・パススキル(安定したディスク操作) ・セルフジャッジによる簡易ゲームの運営	

③ 第3学年

保健体育科 第3学年の目標

- (1)運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにすると共に、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。
- (2)運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。
- (3)運動における競争や共同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てると共に、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動する態度を養う。
- (4)個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を養う。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	体づくり運動(5) ・体ほぐしの運動	・ねらいに応じて、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画を立てて取り組む	【知識・技能】 ・定期考査 ・技能評価 ・授業内の小テスト 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・ワークシート ・授業内の小テスト ・自己評価カード 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み状況の観察 ・課題への取り組み状況の観察と確認 ・ワークへの取り組み状況の観察と確認
5	陸上競技(10) ・リレー ・ハードル走	・スタートから加速・中間疾走、スピードあるバトンパス ・スピードを維持したハードリングなど	
6	体づくり運動(10) ・新体力テスト ・体力を高める運動	・ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高める運動。	
7	体育理論(3) ・文化としてのスポーツの意義	・現代生活におけるスポーツの文化的意義 ・国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な意義や役割 ・人々を結び付けるスポーツの文化的な働き	
7	水泳(8) ・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ ・バタフライ	・手と足、呼吸のバランスをとり速く泳ぐ ・手と足、呼吸のバランスをとり長く泳ぐ	
9	水泳(6) ・複数の泳法及びリレー	・既習スキルを活かしたリレーなど	
10	球技(10) ・ネット型『バドミントン』	・基礎的なシャトル操作 ・基本となるショットの習得	
10	球技(10) ・ベースボール型『ソフトボール』	・「投げる」「打つ」「走る」などの個人スキル ・チームの仲間とシフトなどの戦術などを考えたゲーム	
11	陸上競技(3) ・長距離走	・自己のペースを維持したタイムの短縮や競争	
11	保健分野(8) ・健康な生活と病気の予防③	・感染症の予防 ・性感染症、エイズ(※人権) ・保健・医療機関や医薬品の有効利用	
12	器械運動(10) ・跳び箱運動 ・マット運動	・基本的な技を滑らかに安定して行うことや発展技やそれらを構成した演技	
1	ダンス(7) ・現代的なリズムのダンス ・創作ダンス	・リズムの特徴をとらえ、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊る ・仲間と協力して創作に挑戦する	
2	球技(10) ・ゴール型『アルティメット』	・パススキル(安定したディスク操作) ・チームの仲間と戦術などを考えたゲーム ・セルフジャッジによる運営	
3	保健分野(5) ・健康と環境	・自身を取り巻く環境について ・ごみ処理をはじめとする衛生的管理について	